

第5回

包装材料セミナー

開けやすさを科学するー基礎から考えるイージーピールー

日時：平成22年1月29日（金）

会場：アイビーホール青学会館 サフランの間

主催：社団法人 日本包装技術協会 関東支部

ご参加のお勧め

近年包装材料には、多様化する消費者ニーズから、高機能化・高付加価値化・コスト競争力が求められ、単に内容物の保護だけでなく、加工性から使い勝手、廃棄性等総合的な性能が必要とされています。こうした状況に対応すべく、当会では、日々進化する包装材料の最新動向と今後の展開、業界情報等をご紹介する「包装材料セミナー」を開催しております。第5回目の今回は、イージーピールについて基礎から材料特性まで幅広い内容でプログラムを編成しております。どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

プログラム

時間	講演内容	講師
10:00 ▼ 11:10	<p>◆『日本及び海外におけるイージーピールパッケージの現状と今後』</p> <p>イージーピールは、日常のパッケージにおいて重要な役割を果たしている。食品以外に、飲料、医薬品、化粧品、産業部材分野でもその技術は展開されている。日本では、「使い勝手」「ユニバーサルデザイン」の基に、海外では「user-friendly」「usability」の基に多くの商品に展開されている。</p> <p>高齢化社会、ヒューマンエラー防止等においても、重要となってきている。日本と海外とは、文化の違いから対象商品の展開も異なっている。先進国と途上国でも相違している。その必然性、国内外の事例を比較し、その予兆・今後の方向性を紹介する。</p>	<p>住本技術士事務所 所長 包装管理士・技術士(経営工学) 住本 充弘 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>アサヒ飲料㈱ 購買部長 鈴木紳一郎 氏</p> <p>㈱ロッテ 中央研究所 包装研究室主査 阿曾 政志 氏</p>
11:20 ▼ 12:20	<p>◆『イージーピールシーラントフィルムの技術と開発事例』</p> <p>内容物保護性は、包装材料の重要な機能であり、それを満足するために、食品製造時の殺菌工程や、輸送時の振動、荷扱い等に耐え得る高い密封性が必要とされる。一方で、子供や高齢者でも容易に開封できる易開封性のニーズが高まっており、これら相反する機能を両立すべく、精力的な技術開発が行われている。ユニバーサルデザインへの配慮が企業の命題になった今日、容器の蓋や袋を簡単に開封できる易開封、イージーピール機能をもつフィルムの役割はますます重要になっている。</p> <p>ここでは、イージーピールシーラントフィルムの各種剥離方式のメカニズムと特徴、求められる物性について概観し、DICの特徴的なイージーピールシーラントフィルムと新規な開発事例について紹介する。</p>	<p>DIC株式会社 石化技術本部 フィルム技術グループ 主任研究員 森谷 貴史 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>東罐興業㈱ 紙容器販売本部 市場開発部 西 秀樹 氏</p> <p>東洋製罐㈱ プラスチック容器開発部 F・Pカップ開発グループ 田中 伸二 氏</p>
13:10 ▼ 13:40	<p>◆『易開封、高密封容器 マジックトップの特長と開発動向』</p> <p>易開封性、高密封性の相反する2つの特性を同時に実現できるマジックトップ容器は既に20年以上の歴史があり、様々なお客様のご愛顧を頂いてきた。</p> <p>今回は、そのマジックトップの基本的なメカニズムと特性、使用方法などを説明すると共に、これまで改良、開発を実施してきたアプリケーションの例について説明する。</p> <p>また、マジックトップ容器は上記のようなメリットがある反面、シールの位置精度が一般的な容器に比べ、シビアであるというデメリットがある。これにより、充填機仕様の制限やフランジ幅の制限などがあり、対応が困難なケースがあった。</p> <p>最近、それら制限を緩和し、様々な容器形状、充填機にも対応可能で且つ、従来のマジックトップと遜色ない特性を有する、ノッチレスマジックトップを開発したので、その特長と適用可能用途について紹介する。</p>	<p>出光ユニテック株式会社 商品開発センター 第二開発グループリーダー 久保 昌宏 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>㈱クラレ エバール事業部 グローバルマーケティンググループ 村田 知規 氏</p> <p>凸版印刷㈱ 生活環境事業本部 生活環境製造事業部 技術開発本部 商品開発部 課長 栄 賢治 氏</p>
13:50 ▼ 14:20	<p>◆『パーシャルオープン湯切り蓋について』</p> <p>1) パーシャルオープン蓋の構造の説明 〔層構成例:表面層/イージーピール樹脂/基材層〕</p> <p>2) 湯切り効果など特長の説明</p> <p>3) 湯切り蓋の製品の紹介</p> <p>4) 今後の展開</p>	<p>共同印刷株式会社 技術統括本部 包材製品開発部 包装管理士 片山 洋 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>㈱吉野工業所 研究室 課長 田中 文典 氏</p> <p>アサヒ飲料㈱ 購買部長 鈴木紳一郎 氏</p>
14:30 ▼ 15:40	<p>◆『容器・シール装置におけるイージーピール ～シール方法や評価方法について～』</p> <p>1) 成形容器の種類</p> <p>2) 成形容器の蓋材</p> <p>3) シール性及びシール装置</p> <p>4) 容器におけるイージーピール</p> <p>5) シールの評価及び管理</p>	<p>株式会社シワ機械 取締役技術開発部長 包装専士 増田 敏郎 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>㈱クラレ エバール事業部 グローバルマーケティンググループ 村田 知規 氏</p> <p>ユニチカ㈱フィルムカスタマーソリューション部 飯倉 洋 氏</p>
15:50 ▼ 17:00	<p>◆『接着の裏技「イージーピール」』</p> <p>接着の研究者や技術者は、古来から、如何に物同士を巧く着けるかということに苦心してきた。この苦心が集大成されたものとして現在の接着理論がある。さて、「イージーピール」を直訳すれば、「簡単に剥がす」という意味になる。「はがす」「はかれる」は、ある意味で接着の目的の逆に通ずる。本講演では、接着を逆説的に捉えた時に「イージーピール」のヒントが見えてくることを期待して、現在までの接着理論や材料特性を紹介することにした。</p> <p>1. なぜ接着は起きるか 2. 界面科学から見た接着 3. 物を良く着けるには 4. 自然に学ぶ巧みな接着</p>	<p>工学院大学 工学部 応用化学科 教授 小野 拓邦 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>東罐興業㈱ 紙容器販売本部 市場開発部 西 秀樹 氏</p> <p>㈱吉野工業所 研究室 課長 田中 文典 氏</p>

講師のご紹介

■住本 充弘 氏
住本技術士事務所所長
(包装管理士・技術士
(経営工学))

【ご略歴】
1967年 東北大学 理学部
化学科卒。同年 大日本印刷(株)
入社。
軟包装、紙器、フィルム製造等の
開発・販売促進に従事。紙製容
器包装等環境問題にも関し、
2004年定年退社。以降 南米、
アジア、中東のパッケージングコ
ンサルタントを行い、現在に至る。

■森谷 貴史 氏
DIC(株) 石化技術本部
フィルム技術グループ
主任研究員

【ご略歴】
1994年 大日本インキ化学工業(株)
入社
包材技術本部 包材技
術1グループ 所属
2003年 石化技術本部 フィル
ム開発プロジェクト
2008年 石化技術本部 フィル
ム技術グループ

■久保 昌宏 氏
出光ユニテック(株)
商品開発センター
第二開発グループリーダー

【ご略歴】
1994年 出光興産入社
2002年まで高透明PPシート開発、
技術サービスに従事
現在 マジックトップ、酸素バリア容
器開発、技術サービスに従事

■片山 洋 氏
共同印刷(株) 技術統括
本部 包材製品開発部
部長 (包装管理士)

【ご略歴】
1980年 共同印刷(株)入社
1999年 技術統括本部
包材製品開発部
所属

■増田 敏郎 氏
(株)シンワ機械
取締役技術開発部長
(包装専士)

【ご略歴】
1954年生まれ 早稲田大学電気
工学科卒 卒業後エスピー食品(株)
開発部 開発課 入社
エスピー食品(株)中央研究所副部長、
商品本部マネージャーを経て2002
年4月より(株)シンワ機械にて技術開
発部長(現職)

■小野 拓邦 氏
工学院大学
工学部 応用化学科
教授

【ご略歴】
東京大学農学部卒。同大学院
博士課程修了(農学博士)。
民間会社、北米留学を経て農
林水産省森林総合研究所木材
加工部接着研究室長。
東京大学農学部教授。定年と
ともに工学院大学に転職。
現在、工学院大学工学部応
用化学科教授。東京大学名誉教
授。

開催要領

日 時：平成22年1月29日(金) 10:00~17:00
会 場：アイビーホール青学会館 サフランの間
東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL.03(3409)8181
参加費：会員19,950円(消費税・テキスト代含む)
一般24,150円(消費税・テキスト代含む)
定 員：100名

お申込み方法

- 本紙申込書に必要な事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
協会HPからのお申込みも出来ます。
協会HP：<http://www.jpi.or.jp>
- 申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。
- 当日、ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません(受付にて名刺をご提出いただきます)
- *会場でのお弁当の持込みは出来ませんのでご了承下さい。

お問合せ並びに申込先

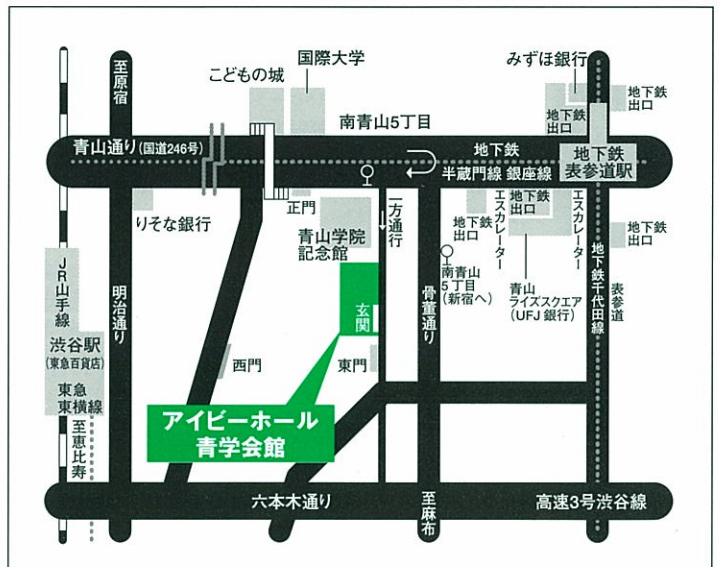
(社)日本包装技術協会 関東支部 包装材料セミナー係
担当:竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970
e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

- 1.個人情報は「第5回包装材料セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
- 2.参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

会場案内図

- 会 場：アイビーホール青学会館 サフランの間
東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL.03(3409)8181
- 交通手段
地下鉄 銀座線・半蔵門線・千代田線
表参道駅下車(B1、B3出口より徒歩5分)
都営バス (渋谷駅前←→新橋駅北口)南青山五丁目下車



第5回包装材料セミナー(1月29日開催)参加申込書

社団法人 日本包装技術協会 関東支部 竹内 行 FAX.03(3543)8970 No.

会社名				
所在地	(〒)			
電 話			FAX	
参加者名	氏名	所属役職	e-mail	
	氏名	所属役職	e-mail	
	氏名	所属役職	e-mail	